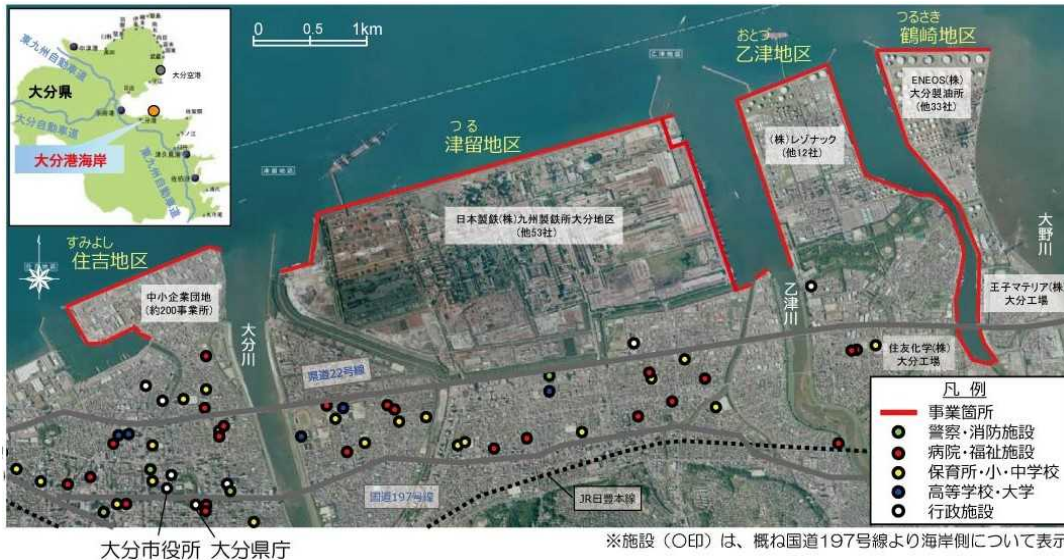


大分港海岸 直轄海岸保全施設整備事業



【目的】

南海トラフ地震・津波や台風による高潮に備えるため、大分港海岸において、海岸保全施設を整備することにより、地域の安全・安心を守ります。

【整備箇所】

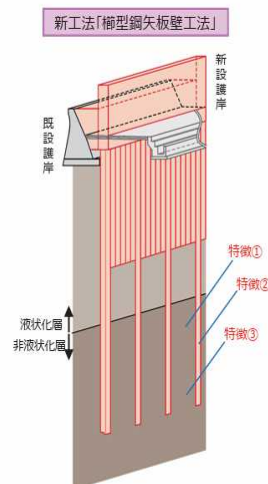
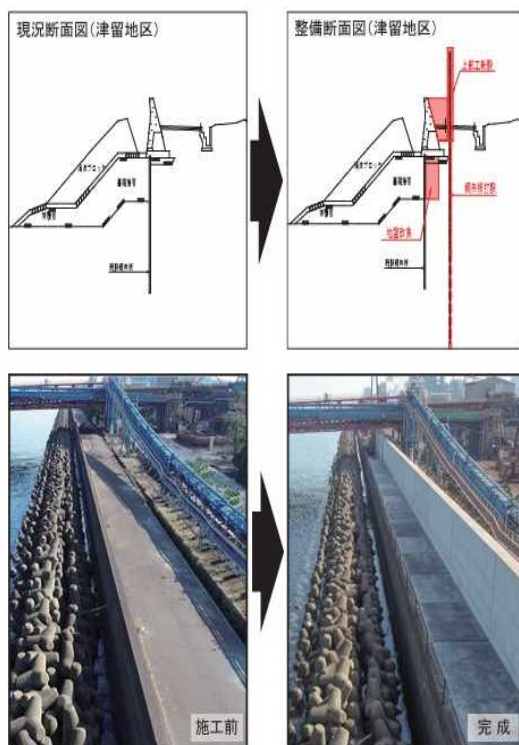
- 住吉地区：物流業・建設業を中心とした200以上の事業所が密集しており、背後に、小・中学校などの教育施設や県庁・市役所などの行政施設が集中している地区。
- 津留地区：自動車や船舶などの部材として使用される粗鋼生産が国内トップシェアを誇る製鉄所ほか関連企業50数社が立地しており、背後に、商業施設や住宅が密集している地区。
- 乙津地区：プラスチック等の基礎原料となるエチレンの国内屈指のプラント能力を有する石油化学製品の事業所ほか関連企業10数社が立地し、背後は、住宅が立ち並んでいるほか教育施設や行政施設が点在している地区。
- 鶴崎地区：九州唯一の製油所ほか関連企業30数社や電力供給施設が立地しており、背後は、事業所や住宅が立ち並んでいる地区。

【整備内容】

整備延長 21,367m (護岸改良、胸壁、陸開)

【整備効果】

本事業を実施することにより、大分港海岸の背後に広がる市街地や臨海工業地帯においては、津波及び高潮・高波による背後地の浸水被害を防止・軽減します。



- 特徴①**
裾部から液状化による土圧を逃がす
効果：液状化対策をしなくても、必要最小限の機能を確保
- 特徴②**
非液状化層まで根入れ
効果：鉛直変位を抑制、粘り強さの付加
- 特徴③**
鋼材重量・鋼材打設長の軽減
効果：コスト削減・工期短縮